

同窓会報

第68号

【題字】書道部／最知 叶愛

【発行】黒川高等学校同窓会
〒981-3685
宮城県黒川郡大和町吉岡
字東柴崎62

【TEL】022-345-2171

【FAX】022-345-2172

【編集】同窓会事務局

【印刷】(有)中村印刷

ご挨拶

黒川高等学校同窓会

会長 山路 義明

同窓生の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

母校は創立百二十四年目を迎え、多くの同窓生が地域に根ざし、様々な分野で活躍されておられる事は喜ばしい限りです。

同窓会につきましては、昭和二十四年の発足以来、黒川管内十支部、県内外五支部、東京同窓会の体制で、母校の教育事業の支援を柱に、十周年毎の記念事業の実施や年一回の会報発行、支部活動の支援などの活動を行っておりますが、近年は様々な形で活動の停滞が見られる状況です。

一、活動休止支部の発生

二、役員世代交代が進まない

三、事業参加者の減少と固定化

このような状況を踏まえ、令和六年八月臨時総会を開催し、活動の活性化を目指して規約改正を行いました。

一、総会の開催 隔年→毎年開催

二、評議員会を各支部代表二名で構成する拡大役員会に

さらに、休眠口座となっていたマイクロボス更新用積立金の有効利用方針などを決定いたしました。七十年以上の歴史をもつ同窓会ですが同窓会であれば出来ない教育支援の事業も多々あります。同窓生として母校の発展を願う活動に、皆様方のご参加を節にお願い申し上げます。

母校は大丈夫か

令和六年五月、宮城広瀬高校（青葉区）の令和十一年三月閉校が発表されました。全校共学化以降、県内では仙台圏以外の女子校や農業系高校を中心に統廃合が進んでいますが、遂に仙台市内の高校も廃校となることが決定しました。二年連続で定員充足率が六十%台の黒川高校にとっても、他人事ではないと感じています。

創立以来、地域に根ざし地域とともに歩んできた母校の重要性を再認識する必要がありますと思います。

今後とも同窓生の皆様には、一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶

校長 遠藤 俊樹

同窓生の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

黒川高校は今年で創立百二十四年目を迎えました。平成二十二年度の学科改編及び令和二年度の学級減により、現在は各学年とも普通科二学級と工業系学科三学級（機械科・電子工学科・環境技術科）からなり、普通科と工業科を併設する県内で唯一の県立高等学校として、黒高の3F精神である校訓「公正、友愛、開拓」のもと、勤労と責任を重んじる姿勢を養い、社会で活躍できる人物の育成を目指し教育活動を実践しています。現在の黒高は、在校生の九割以上が地元富谷・黒川地域の中学校の出身者で占められており、就職先もほとんどが地元就職で、十一月には地元市町村の協力もあり黒川地域産業説明会を実施しており、今年で三年目となります。より一層地域に根ざし、地域に貢献できる人材の育成が

求められている状況です。

さて、本校の部活動については、令和二年度の機械科一学級減による生徒数、職員数の減により、山岳部、空手道部、ウエイトリフティング部は廃部いたしました。いずれの部も全国大会に出場経験のある部でしたが、やむを得ず廃部となりましたことを御報告いたします。その他の部活動については、部員数が極端に少ない部もありますが、生徒たちは、大会等に向けて日々、活動に励んでいます。今年は陸上競技部が、ハンマー投げとやり投げの二種目で東北大会出場を果たし、ロボット研究部は、高校生ロボット相撲全国大会、全日本ロボット相撲全国大会と二つの全国大会に駒を進めています。

創立以来、幾多の学科改編を繰り返しながらも、同窓生の皆様が築き上げてきた伝統が、今の生徒たちの活躍を支えています。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。それぞれの時代で学んだ学科は異なれども、同じ黒高の同窓生として世代を超えて、七月に行われる同窓会総会が同窓生の集う場となることを願っています。

本校はこれからも教育環境の充実に努め、地域の未来を担う若者を育てる場として、日々進化を続けてまいります。同窓生の皆様には、これからも温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。母校が皆様にとって誇りであり続けるよう、教職員一同全力を尽くしてまいります。

令和六年度 同窓会臨時総会

本部役員は次の通りです。

- 会 長** 山路 義明 (S四一年卒大衡支部)
- 副会長** 大友 勝衛 (S四一年卒落合支部)
- 副会長** 堀籠日出子 (S四二年卒吉田支部)
- 監 事** 渡辺 政志 (S四三年卒大谷支部)
- 監 事** 庄司 正巳 (S四六年卒吉岡支部)
- 監 事** 浅野 芳夫 (S四八年卒富谷支部)
- 顧 問** 藤倉 知格 (S四八年卒県議会議員)
- 顧 問** 佐々木末治 (S三一年卒前会長)
- 顧 問** 金 和宏 (元校長)
- 顧 問** 本郷 貴志 (元校長)
- 顧 問** 市川 敬行 (元校長)
- 参 与** 与 遠藤 俊樹 (現校長)
- 事務局長** 佐々木寛征 (教職員)
- 事務局** 三浦 葵 (教職員)

議題

- (一) 令和五年度事業報告並びに収支決算報告について
- (二) 令和六年度事業計画並びに収支予算(案)について
- (三) 会則の一部改正について

支部等は次の通りです。

- ◆ 東京同窓会 ◆ 仙台支部
- ◆ 落合支部 ◆ 吉岡支部
- ◆ 大衡支部 ◆ 吉田支部
- ◆ 宮床支部 ◆ 粕川支部
- ◆ 富谷支部 ◆ 多賀城・七ヶ浜支部

現在休止中の支部

- ◆ 大谷支部 ◆ 利府支部
- ◆ 大松沢支部 ◆ 松島支部
- ◆ 鶴巣支部 ◆ 栃木県人会

七月二十七日(土)午前十一時より町内の遠藤旅館に於いて同窓会臨時総会が開催されました。母校より熊谷崇教頭、佐々木美幸事務室長に出席していただきました。

始めに山路同窓会会長より開会の挨拶があり、熊谷教頭からは母校の近況報告を兼ねたご祝辞をいただきました。会則に従って、会長が議長となり、事務局より令和五年度事業報告並びに決算報告、令和六年度事業計画並びに収支予算案を原案のとおり承認していただきました。また、会則の一部改正についても承認していただきました。懇親会は、終始なごやかな雰囲気で行われ、昔懐かしい学生時代の話題や黒川地域の最近の変化、さらには後輩達の活躍の話題など、尽きることなく大いに盛り上がりました。懇親会の最後は、母校の益々の発展を祈りながら散会いたしました。

【令和5年度 収支決算報告書】

収入の部 (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	付記
1 会費	1,329,000	1,314,000	△ 15,000	
1) 終身会費	1,329,000	1,314,000	△ 15,000	@3,000×438名
2 繰越金	759,741	759,741	0	
3 雑収入	259	11	△ 248	利息
収入合計	2,089,000	2,073,752	△ 15,248	

支出の部 (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	付記
1 事務諸費	160,000	97,537	△ 62,463	
1) 需要費	60,000	36,546	△ 23,454	ハガキ, 送料, 事務用品他
2) 旅費	100,000	60,991	△ 39,009	役員, 事務局旅費
2 会議費	60,000	13,429	△ 46,571	
1) 総会費	30,000	176	△ 29,824	評議員会会場代
2) 役員会費	30,000	13,253	△ 16,747	役員会お茶代
3 事業費	990,000	784,820	△ 205,180	
1) 支部助成費	200,000	140,000	△ 60,000	各支部への助成金
2) 事業諸費	200,000	139,950	△ 60,050	会報発行, 郵送費
3) 渉外費	10,000	7,700	△ 2,300	卒業アルバム
4) 学校(生徒)助成	580,000	497,170	△ 82,830	資格取得助成金(3), 会議室用机, 椅子
4 敬愛費	160,000	124,734	△ 35,266	
1) 歓迎費	120,000	108,734	△ 11,266	卒業生証書入れホルダー
2) 慶弔費	40,000	16,000	△ 24,000	支部総会御祝儀
5 負担金	5,110	5,110	0	産業教育振興協会負担金
6 車両借上等補助費	300,000	0	△ 300,000	生徒遠征費補助
7 財源積立金	400,000	400,000	0	
8 予備費	13,890	0	△ 13,890	
支出合計	2,089,000	1,425,630	△ 663,370	

【収入合計】2,073,752 - 【支出合計】1,425,630 = 【差引残額】648,122 (次年度へ繰り越し)

令和6年度臨時総会



【令和6年度 収支予算書(案)】

(単位: 円)

収入合計	支出合計	差引
1,475,000	1,475,000	0

※ただし科目間の流用を認めるものとする

【令和5年度 同窓会事業報告】

月日(曜日)	事業内容	場所
4月8日(土)	入学式	黒川高校 体育館
6月10日(土)	評議員会	同窓会館
6月18日(日)	落合支部総会	遠藤旅館
7月8日(土)	吉田支部総会	遠藤旅館
8月19日(土)	同窓会総会	遠藤旅館
27日(日)	吉田支部環境整備	館山公園
9月24日(日)	東京同窓会総会	上野 翠鳳
28日(木)	学校助成(陸上部東北大会出場~9/30)	福島県総合運動公園
11月18日(土)	仙台支部総会	ホテル白萩
12月9日(土)	学校助成(ロボット研究部ロボット相撲全国大会出場~12/10)	両国・国技館
2月29日(木)	同窓会入会式, 支部長会議	黒川高校 体育館, 同窓会館
3月	同窓会報 第67号発行	2400部印刷(中村印刷)
3月1日(金)	卒業式	黒川高校 体育館
3月26日(火)	監査・役員会	黒川高校 同窓会館

今年の活躍

ロボット相撲 全国大会に参加して

電子工学科3年 森田 瑞輝

私は今年の10月に行われた高校生ロボット相撲東北地区大会の後輩の石川君と共に出場しました。昨年は、1回戦で敗退し悔しい思いをしたので、今年は整備や点検を入念に行って大会に臨んだ結果、準優勝することができ、全国大会高校生の部並びに全日本の部への出場権を獲得することができました。

11月に行われた全国大会高校生の部での対戦相手は大分県の強豪校でした。過去の試合映像などで相手を研究し、勝つための戦法を考えましたが、0対2で1回戦敗退となりました。試合には負けてしまいましたが、自分が1年生の時に先輩と共に全国大会に出場して様々な事を学んだように、後輩

にも貴重な経験をしてもらうことができ良かったです。

12月の全国大会全日本の部では、別日の大会で出場権を得た砥谷君と共にそれぞれのロボットで出場しました。私の初戦の相手は、全国優勝経験のある香川県の高校です。強敵相手に果敢に攻めましたが、1対2で敗北しました。砥谷君の対戦相手は同じく香川県の強豪のOBで、激しい押し合いにもなりましたが力負けしてしまい、0対2で敗退となりました。どちらのロボットも勝ち上がることはできませんでしたが、3年生最後の大会で日々の成果を生かして強敵相手に臆することなく戦うことができ良かったと思っています。

大会に参加するにあたって援助していただいた先生方や同窓会の皆様にはとても感謝しています。費用の面で出場を断念する高校もある中、学校全体で協力をして大会に出場させて頂き、ありがとうございました。



今年の大会を 振り返って

普通科3年 岩崎 礼牙

私は今年、やり投げで多くの大会に出場しました。県総体では、54m84cmの自己記録を更新し、優勝することができました。これまで勝つことができなかつたライバルに初めて勝利し、大きな喜びを感じました。今年の初めには、足首を捻挫するアクシデントもありましたが、それを乗り越えて結果を残せたことは、大きな自信につながりました。

そして東北総体では、県総体とは異なり高いレベルの選手たちが多く、予選では緊張してしまい思うような投げができませんでした。なんとかトップ8に残ることができました。トップ8に残ったことで緊張がほぐれ、55m14cm自己記録更新、8位入賞をすることができました。しかし、目標としていたインターハイ出場にはわずか10cm届きませんでした。悔しさもありましたが、競技を楽しみながら自分の限界に挑戦し、充実感を味わえました。さらに、高校生活最後の

大会では、55m62cmの自己記録を更新して優勝し、陸上競技人生を最高の形で締めくくることができました。この結果は、日々の努力と家族や顧問の先生、仲間たちの支えの賜物です。

このような経験で得た自信や感謝の気持ちを忘れず、陸上競技を通して学んだ努力の大切さや感謝の心をこれからの人生に活かしていきたいと思っております。同窓会からのご支援ありがとうございました。



【男子テニス部】

宮城県高等学校新人大会 団体の部

1回戦 黒川 3-2 東北
2回戦 黒川 0-5 仙台二

【男女バレーボール部】

男子

宮城県高等学校総合体育大会

第1試合 黒川 2-0 石巻商業
第2試合 黒川 2-1 仙台高専名取
第3試合 黒川 1-2 東北学院

県大会ベスト16

女子

宮城県高等学校総合体育大会

1回戦 黒川 2-1 気仙沼向洋
2回戦 黒川 0-2 利府

全日本バレーボール高等学校選手権大会 一次予選

1回戦 黒川 0-2 迫桜

【男子バスケットボール部】

高校総体大崎地区予選

1回戦 黒川 99-34 大崎中央
2回戦 黒川 83-54 小牛田農林

決勝トーナメント

準決勝 黒川 46-65 古川 第3位

宮城県高校総体

1回戦 黒川 63-70 泉

【ソフトボール部】

宮城県高等学校総合体育大会

1回戦 (トーナメント方式)

中新田・古川黎明・黒川・涌谷 19-16 桜坂
中新田・古川黎明・黒川・涌谷 2-17 利府

【男女バドミントン部】

男子

大崎・石巻地区総合体育大会

男子ダブルス 沼倉權哉・千田晃大 ベスト8
男子シングルス 沼倉權哉 ベスト8
男子学校対抗戦 第3位

宮城県高等学校総合体育大会

男子学校対抗戦 1回戦 黒川 0-3 登米

女子

大崎・石巻地区総合体育大会

女子ダブルス 太田琴子・千葉朱姫 ベスト8
女子シングルス 太田琴子 第3位
女子学校対抗戦 初戦敗退

【硬式野球部】

春季宮城県高等学校野球 地区大会

黒川 6-8 中新田
黒川 1-8 古川

全国高等学校野球選手権宮城大会

黒川 0-12 泉高校

秋季宮城県高等学校野球 北部地区予選

三校連合 (黒川・古川黎明・迫桜)
7-6 古川

三校連合 (黒川・古川黎明・迫桜)
4-7 古川工業

三校連合 (黒川・古川黎明・迫桜)
13-1 大崎中央

三校連合 (黒川・古川黎明・迫桜)
4-3 築館

秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

三校連合 (黒川・古川黎明・迫桜)
2-9 仙台

【サッカー部】

宮城県高等学校総合体育大会

1回戦 黒川 0 対 0 宮城農業
PK 黒川 2 対 4 宮城農業

全国高等学校サッカー選手権宮城県大会

1回戦 黒川 7 対 0 迫桜
2回戦 黒川 1 対 3 仙台高専名取

宮城県高等学校サッカー新人大会

1回戦 黒川 1 対 5 石巻工業

【陸上競技部】

宮城県高校総合体育大会

男子やり投げ決勝進出 岩崎礼冴 第1位

東北大会出場

男子ハンマー投げ決勝進出 平林海翔 第6位

東北大会出場

全国高等学校陸上競技対校選手権大会東北地区予選会

男子やり投げ決勝進出 岩崎礼冴 第8位

男子ハンマー投げ予選敗退 平林海翔

宮城県陸上競技選手権大会

一般男子やり投げ決勝進出 岩崎礼冴 第6位

くりこま高原陸上競技選手権大会

男子やり投げ決勝進出 岩崎礼冴 第1位

【書道部】

ふれあい書道展

芳賀彩乃・松崎南未・佐藤つぼみ・浅野ひなた
特選

全国小中高児童生徒 川開書道展

松崎南未 毎日新聞社賞
高橋彩花 準大賞

全国学生防災書道展

最知叶愛・菅原優・松崎南未 入選

【美術部】

高校生絵画展IN登米市2024

奥山桃葉子 奨励賞

泉・黒川地区高等学校美術展

奥山桃葉子・工藤梓葉 奨励賞

【囲碁・将棋同好会】

宮城県高等学校将棋新人戦

個人戦 C級 尾形武晃 第4位

【写真同好会】

フォトサミット in Sendai 2024

後藤穂乃香 入選

【吹奏楽部】

アンサンブルコンテスト多賀城地区大会

管楽五重奏 銀賞

宮城県高等学校総合体育大会

女子学校対抗戦 1回戦 黒川3 - 1 南三陸
2回戦 黒川0 - 3 仙台向山

【男女卓球部】

男子

宮城県高等学校新人卓球大会

男子団体戦 出場

女子

宮城県高等学校総合体育大会

女子団体戦 出場
シングルス 岩佐 柚 出場

宮城県高等学校新人卓球大会

女子団体戦 出場
シングルス 岩佐 柚 出場

【剣道部】

県新人戦

個人 佐川遥人 1回戦敗退

県総体

個人 佐川遥人 1回戦敗退

【ロボット研究部】

高等学校ロボット相撲選手権 北海道東北選手権

ラジコン型 からあげ3号 操縦員 砥谷光 優勝
くろまめ8号 操縦員 森田瑞輝 第3位

宮城県高等学校ロボット相撲大会

ラジコン型 くろまめ8号 操縦員 森田瑞輝 第1位
からあげ3号 操縦員 砥谷光 第2位
ステーキ2号 操縦員 渋谷直人 第3位

高校生ロボット相撲全国大会2024

ラジコン型 くろまめ8号 操縦員 森田瑞輝 出場

全日本ロボット相撲大会2024決勝大会

ラジコン型 からあげ3号 操縦員 砥谷光
くろまめ8号 操縦員 森田瑞輝 出場



各支部の活動

【東京同窓会 楽しいひと時を】

東京同窓会の令和6年度定時総会が11月30日、我が心の「上野駅」近くの会場で13人が集い、山路義明同窓会会長を招いて家庭的雰囲気の中にも盛況に開かれた。

総会は千葉隆幹事が司会を務め初めに校歌斉唱があり「さやかに晴るる山幾重」が会場に広がり和やかなムードが広がった。

渋谷会長が挨拶「参加者は年々減少傾向にあるが今後も総会開催は続けて参りたい。本日ご出席の皆さまの健康次第にかかっております」と訴えた。

続いて山路会長が祝辞を兼ねて母校の近況などの報告があった。

「ここ数年、入学者が定員を下回る「定員割れ」が続いており今年も200人の定員に対し133人の入学者となった。多くの他校も同様の問題を抱えている。」と厳しい母校の現状に一同耳を傾けておりました。

一方部活動では、

「ロボット研究部はロボット相撲全国大会で、本日は福島で高校生の大会、来週は東京で一般の大会に出場します。」と、嬉しい報告もあり後輩へエールを送った。

会計報告、会計監査報告議案は承認され、参加者集合写真を撮りお待ちかねの懇親会に移った。

千葉幹事の音頭でござって、高らかに乾杯、盛り上がるムードの中で近況報告、意見交換が活発に展開された。

今回は2人の新人の参加で場を大いに盛り上げてくれたのは嬉しかった。

今年も特別会員の北川正男様（京都の出身）が応



援参加、出席者となごやかに交流の輪を広げていた。同氏は七ツ森研究者として知られる。

楽しい再会のひとときも終盤へ、早坂藤雄幹事の締め挨拶代わりに「さんさしぐれ」を熱唱、来年の再会を約して3時近くお開きとし各自上野をあとにした。

東京同窓会会長 渋谷 豊樹

【多賀城・七ヶ浜支部 総会】

新型コロナウイルス感染防止のため予定されていた令和2年と令和4年の総会は書面決議で行うほかありませんでしたが、今回平成30年以来となる役員会と総会を対面して開催しました。やはり顔と顔を合わせると大変新鮮に感じられました。

これまで10年という長年に亘って支部長を務められた川島弘さんが勇退を表明され、同じく副支部長を10年務められた屋代ひささんと佐々木悦子さんも退任の意向を示されました。これまでの支部活動への「尽力」に対し会則に則り支部長には「顧問」、副支部長には「参与」に就任して頂きこれまで同様に会報の配付などの協力を頂けるということになりました。

新支部長には若返りを図って昭和51年卒業の七ヶ浜町の佐藤勝三さんが就任しました。

山路会長には祝辞を頂戴した後に時間を割いて高校の現状についてお話を賜りました。出席者には自身の高校生活

と照らし合わせると信じがたい事実が少子化問題をはじめとする社会現象を目の当たりにした思いでした。

懇親会の席上では参加者が黒川地区内のこともあって実家の所在地におよび、かつてあった店舗名や先輩や後輩の安否確認まで話題が広がるといふ楽しい宴となりました。

事務局 菅原 市雄



【落合支部総会】

令和6年6月16日(日)午後3時から吉岡遠藤旅館に於いて18名の参加で支部総会が行われました。

協議内容は、同窓会員の慶弔関係についてでした。これまで同窓会員の死亡時にお悔やみと弔電を出しておりましたが、コロナ感染を機会に、会費未徴収での運営に切り替えた昨今の情勢に鑑み、令和7年度からは慶弔関係(お悔やみ)は廃止とすることとし、今後の同窓会運営は事業活動発生主義による、その都度の参加者等の「特別会費」での運営となりました。



このことにより、同窓会活動は「親睦団体活動」へと方向転換することになりましたが、役員等の規約規程内容の活動につきましては、本校(本部)との関係より従来通りとし、各地区の役員さん方には引き続きのお世話を頂くことになりました。

事務局
瀬戸 啓一

【仙台支部総会】

令和6年11月16日(土)仙台市青葉区「ホテル白萩」において、令和6年度仙台支部総会が行われました。当日は会員12名と来賓として山路同窓会長の出席をいただきました。

先ず総会に先立、アトラクションとして、江戸芸かっぱれ(師範櫻川さん他1名)、日本舞踊(会員の三嶋さん)、カラオケとして横田さん及び滝本耕平(日本エンカフォンレコード)さんに大変盛大に盛り上げていただきました。

浅野支部長のあいさつ後、山路会長から同窓会及び母校の現状や活動についてのお話をいただきました。特に少子化、郡部高校の生徒の定員割れ、部活動の成績等ご紹介をいただきました。母校の将来と後輩の活躍を期待するばかりでした。

総会では、提出全議案原案のとおり承認されました。役員改選では支部長に清水信市氏、副支部長に萬忠一郎氏、事務局長に櫻井辰次氏を選任し、新たに顧問として浅野袖記氏を委嘱しました。



懇親会に移り出席者一人一人から現況等について報告がありました。終わりに校歌を合唱し、今後会員の勧誘と年一度総会に出席し、情報交換し明日への元気をいただきましたようにと再会を願い解散いたしました。

仙台支部長
清水 信市

短 信

先頃失せ物を探していたら、古い東京同窓会の集いの写真が出現。昭和30年頃か、大学2年の頃のものらしい。写真にはなんと70人程の同窓生がずらり。盛況さの証明である。こんな時代もあったのかと驚く。

かつてはいずれの家にも兄弟姉妹が多かった。5・6人はザラ。10人もいる人も珍しくはない。言うまでもなく、50年位前は首都圏に就職する人が多かった。兄弟で2、3人位東京に進出する人たちもいた。

メディアが少子高齢化社会来るーなど言い出したのはいつだったか。とにかく少子化の波がヒタヒタと起こり、10年前頃からは出席者が30人程にダウン、その後20人程になるまでは時間がかからなかった。少数だとホテル会場もダメ。なんともみじめ。

そして20人も割ってしまう。確かに会員の高齢化は進む。案内状の一言コーナーにも「寄る年波で歩行難」という人の淋しい声がいくつか見られた。自然の動きには打つ手が見つかからないが・・・。

今年首都圏に進出した卒業生が0だということを聞く。なんとも悲しい情報。そんな折ちょっと明るい話題もあった。今回の東京同窓会の出席者の中に、2人の初参加者があったのです。嬉しい話でした。

もう風前の灯火かと思ったのが早すぎたようで反省したい。この寂しい現状を打破する妙手を探したい。そんな折、仙北の県立高校同窓会が先頃50人余を集めて東京のKホテルで開かれたという情報を耳にした。

私たちが諦めずもうひと踏ん張りしようではありませんか。

齋藤 西天 (昭和26年卒)

ようやくコロナも落ち着き、様々な行事も再現されるようになってきました。毎朝のジョギングとストレッチを行い、体力づくりをしております。自分は他に古希野球にも所属し、審判長も兼ね忙しいシーズンです。タマには、グラウンドゴルフ・パークゴルフに興じております。

熊谷言久雄 (昭和37年卒)

事業開催

吉田支部長 堀田 敏幸

展望の景観が変貌!

吉田支部は事業活動の一環として、8月25日に館山公園環境整備を行いました。しかし、これまで課題であった公園正面の雑木が生い茂り、公園頂上からの展望を阻害していましたが、今年も猛暑で慣れない作業の中、公園正面の雑木の伐採作業に取り掛かりました。

作業後は展望の景観が変貌し、景観の記憶が子供の頃に戻ったような気持ちを抱きました。ただ、大部分の作業の完成に至らず、次回も整備を継続し、吉田を一望できる景観にしたいと考えています。

さらに町から「町づくり活動団体」として認定されています。今後も活動を継続しながら、町史に存在する「麓城跡」の文化材の管理に寄与し、会員のご協力を頂きまして、本支部の充実発展に努めて参ります。



作業後、頂上からの景観



作業時、雑木の伐採



作業前、正面が雑木

還暦野球で楽しんでいます

私も還暦野球チームは、富谷・黒川地域内の黒川高校OBを主体に「黒川野球クラブ」として23名で結成し、県内20チームに加わり活動しております。

今年も主に美里町の素山球場に於いて春季リーグ並びに秋季大会が日曜日ごとに開催され、我がチームは5年目にして上位入賞に輝き北日本大会（石巻市）、来年の5月には東日本大会（群馬県太田市）に出場することとなりました。ますます練習に励まなければなりません。年老いてもスポーツを楽しみながら体づくりとりハビリに努めています。

OBの皆さん、ぜひ加入されますよう、歓迎します。

黒川野球クラブ監督 熊合喜久雄（昭和37年卒）



喜寿で最後の同窓会 34 HR (昭和41年卒業、第18回)



私たちは、54名（男22名・女32名）の普通科で、教室は歩く余裕が少ない狭い状態でしたが、仲良く欠けることもなく全員卒業させていただきました。あれから昭和・平成・令和と時が過ぎ、卒業から58年が経過し、後期高齢者になり身体の不調を訴えることも年々多くなりました。「元気なうちにもう一度最後のクラス会を開催して、皆とお会いし互いに顔を見合わせたい。そして青春時代や今日の四方山話を楽しみたい。」との各方面からの要望が聞かれ、「喜寿の祝」を理由にクラス会を令和6年6月12、13日1泊2日で開催しました。一方恩師や仲間の訃報も聞かれ、哀しい限りです。クラス会は、懐かしく恥じらいもあつた青春時代を肴に、そして思い出と元気な話題で若さと健康を共有することができました。

母校は今年創立124周年、卒業生2万名を突破したとのことや私たちが共に学び遊んだ普通科は2クラス、他に農業系や土木・家政科は今ないこと、また、私たちは団塊の世代ですが、今は少子化で定員割れも出ていることの話など、そして校歌や当時の懐かしい思い出の歌など合唱し楽しみました。翌日は松島湾一周の遊覧船に乗り、青い海と爽やかな海風を満喫しました。今後は全員での同級会は開催できませんが、気の合う仲間同士で懇親を深め、互いに健康長寿の確かめ合いは続けることにしました。

櫻井 辰次

卒業生の進路状況

過去2年間の進路状況

令和5年度（昨年度）

種別	就職	公務員	大学・短大	専門学校	その他	合計
内定者(人)	101	6	10	26	0	143
未定者(人)	1	0	0	0	3	4
決定率(%)	99	100	100	100	0	97

令和6年度（令和7年1月14日現在）

種別	就職	公務員	大学・短大	専門学校	その他	合計
内定者(人)	89	3	16	33	0	141
未定者(人)	7	0	0	3	2	12
決定率(%)	93	100	100	92	0	92

主な進路先

大学・短大等 合格者数（延べ人数）

大学		計
県内	東北学院大学	3
	東北福祉大学	2
	仙台大学	1
	東北生活文化大学	1
	東北文化学園大学	3
	石巻専修大学	1
	合計	11
短期大学等		計
県内	聖和学園短期大学	3
	東北生活文化大学短期大学	1
	仙台青葉学院短期大学	1
合計	5	

看護系学校合格者数（延べ人数）

大学校・高等技術専門学校		計
仙台医師会看護専門学校		1
葵会仙台看護専門学校		1
合計		2

大学校・高等技術専門学校合格者数（延べ人数）

大学校・高等技術専門学校		計
宮城県立仙台高等技術専門学校		6
宮城県立白石高等技術専門学校		1
合計		7

専修・各種学校合格者数（延べ人数）

専修・各種学校		計
県内	代々木アニメーション学院仙台校	1
	宮城調理製菓専門学校	1
	仙台リゾート&スポーツ専門学校	3
	仙台デザイン専門学校	1
	仙台ヘアメイク専門学校	1
	専門学校日本デザイナー芸術学院仙台校	1
	仙台総合ビジネス公務員専門学校	3
	赤門自動車大学校	1
	東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校	2
	仙台医療秘書福祉&IT専門学校	1
	仙台ウェディング&ブライダル専門学校	2
	専門学校東北動物看護学院	1

県内	仙台総合ペット専門学校	2
	仙台ECO動物海洋専門学校	1
	仙台こども専門学校	1
	仙台ビューティーアート専門学校	1
	日本工学院八王子専門学校	1
合計	24	

就職内定者数（実数）

事業所名		計
管内	東北計器工業 株式会社	1
	トヨタバッテリー株式会社 宮城工場	4
	レンゴー 株式会社 新仙台工場	2
	株式会社ワイデー・ケー 宮城工場	6
	株式会社 コメリ	1
	トヨタ自動車東日本 株式会社	4
	株式会社 イズミテクノ	2
	株式会社 あらた 東北支社	1
	白石食品工業株式会社 仙台工場	5
	仙台小林製薬 株式会社	2
	株式会社 新開トランスポートシステムズ	1
	トヨタ紡織東北 株式会社	2
	株式会社 渡辺精機 宮城工場	1
	株式会社 C & D	1
	有限会社 高木商店（仙台工場）	1
	株式会社 パンセ	1
	スズデン株式会社	1
	株式会社 やまや	1
	アイシン高丘東北 株式会社	1
	日進工具 株式会社	1
	CKD 株式会社	2
	株式会社 日進エンジニアリング	1
	THKインテックス株式会社 仙台工場	2
	株式会社 バイタルネット 宮城物流センター	2
	ウォーターワークス仙台 株式会社	1
	株式会社 ササキ 宮城本部	1
	株式会社 フジコーポレーション	4
株式会社 一条工務店仙台 仙台支社	1	
社会福祉法人 まほろば	2	
株式会社 エム・エフ・ティ仙台	1	
旭陽電気 株式会社 宮城工場	4	

管内	川崎設備工業 株式会社	1
	AGCガラスプロダクツ株式会社 大衡工場	2
	三協フロンテア	1
	管内計	64

事業所名		計
仙台	株式会社 仙台村田製作所	3
	株式会社 ヒメノ	1
	株式会社 ユアテック宮城サービス	2
	河北新報印刷 株式会社	1
	仙台日信電子 株式会社	1
	ネットヨタ仙台株式会社	1
	有限会社 ダブルストーン	1
	O・T・テクノリサーチ 株式会社	1
	アート引越センター 株式会社	1
	株式会社 シベール	1
	株式会社グリーンテック松ノ木	1
仙台計	14	

県内	株式会社デンコードー【ケースデンキ】	1
	株式会社 ヤマダヤ	1
	アルプスアルパイン株式会社 仙台開発センター（古川）	1
	JA全農ラドファ 株式会社	1
県内計	4	
県外	大成ロテック 株式会社	1
	CSエコー 株式会社	1
県外計	2	

縁故	中川電業	1
	ザムザムトレーディング	1
	山田建設工業	1
	エタニティワン	1
	合同会社エスプロダクト	1
縁故計	5	
就職者合計	89	

公務員合格者数（延べ人数）

職種		計
大和町職員（行政）		1
富谷市（行政）		1
自衛官候補生（航空）		1
合計		3

事務局からのお知らせ

令和七年度は、六月に拡大役員会、七月最終土曜日に総会が開催されます。多数のご出席をお願いいたします。詳細はホームページに掲載いたします。

同窓会報のホームページ掲載について

黒川高等学校のホームページ内に、同窓会の欄を設けました。同窓会報については、こちらにも掲載しますのでご活用ください。



同窓会報の配付方法について

同窓会報は各支部の中で配付を行ってききました。しかし、個人情報保護法が施行されてから、住所等を登録しない会員もおり、

各支部で会報の配付が困難になってきております。自宅への郵送を希望される方は、送料百十円分の切手を貼付した返信用封筒を事務局まで送付してください。

事務局からのお願い

同窓会報への寄稿を募集しています。同級会開催の案内（日程・問い合わせ先等）や同級会の報告、叙勲の情報などがありましたら事務局までお知らせください。

- 様式は不問です
- 氏名、卒業年、住所、電話、掲載してほしいことをお知らせください。
- 連絡方法：郵便、FAX
- 連絡先：宮城県黒川高等学校同窓会
事務局長 佐々木 寛征
千九八一―三六八五

宮城県黒川郡大和町吉岡字東柴崎六二
【電話】〇三―三四五―二七二
【FAX】〇三―三四五―二七二

訃報

令和六年八月二日(金)に、本校昭和二十一年卒業、元衆議院議員熊谷市雄氏が逝去されました。

熊谷氏は大和町鶴巣農業協同組合代表理事組合長、宮城県農業協同組合長会会長、衆議院議員(二期)、環境大臣政務官、農林水産大臣政務官などを歴任され、農業を含む第一次産業の発展に多大なご貢献をされました。ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和五年度の教職員の異動

転出職員(職・氏名・異動先)

教諭	太田 俊一(退)	職
教諭	丸山 英臣(退)	職
教諭	小林 由香(仙台西高)	職
教諭	花坂 志保(島根県)	

事務室長 村上 貴宏

(北部教育事務所)

転入職員(職・氏名・前任校)

教諭	光井 淳(白石工業高)
教諭	秋場 礼(東松島高)

事務室長 佐々木美幸

(大河原教育事務所)

教諭	遠藤 千紘(涌谷高)
教諭	菅原 拓朗(新規採用)
教諭	佐々木一成(新規採用)

編集を終えて

事務局 三浦 葵

今年はほとんどの支部で総会が行われ、同級会などの寄稿もありました。事務局としてこの後もより読みやすい紙面の作成を心がけていきたいと考えておりますので、会報についてご要望やご意見がありましたらお寄せください。また、各支部の様子だけでなく、同級会のお知らせや、部活動OB会などたくさんの方の情報をお待ちしております。

